

外来生物の適正な飼育に係る自然環境局長談話

平成18年7月20日

最近、カミツキガメが野外で発見されるなど、逃げたり捨てられたりしたものと思われる外来生物に関する報道が相次いでいます。

昨年度、同様の事態が見受けられたため、環境省から外来生物の適正な飼育の呼び掛けをしましたが、このような事態がいまだに続くことは、たいへん憂慮すべきことであると考えます。

飼われている外来生物の中には、野外に放たれると人の生命・身体に危害を及ぼすおそれがあるものや、生態系や生活環境などに被害を及ぼすおそれのあるものがあります。例えば、外国産のカブトムシ、クワガタムシ等の甲虫類は、大量に輸入・飼育が行われており、野外に遺棄されると在来の昆虫類等に対して影響を与えることが懸念されています。

外来生物を飼っている方々は、最後まで責任を持って飼育してください。また、外来生物を販売する業者の方は、購入される方々に対して「捨てない、逃がさない」というマナーを広めてください。特定外来生物の遺棄は法律により禁じられている行為でもあります。

環境省では、生物に親しむ機会の多くなる夏休みを前に、外来生物の適正な飼育について再度呼び掛けを行う必要があると考え、昨年度に引き続きホームページへの掲載やポスターの配布などによる普及啓発を進めます。

国民の皆さまにおかれましては、外来生物の適正な飼育について御理解いただき、今後このような事件が起きないように御協力をお願いいたします。